

東養護学校訪問

▼ 入学生徒増加で教室増設

11月21日(火)午前、まごころ児童デイの職員・スタッフは一宮市丹羽にある愛知県立一宮東養護学校を訪問しました。

案内していただいた小学部の先生によれば、「この1、2年で生徒数が増加しており音楽室や広めのホールも間仕切りして教室にしています。また、生徒数の7割が自閉症です。」というお話でした。

▼ 学校での様子に別の一面を発見

今回の訪問はまごころ児童デイを利用して児童の学校での様子を見ることでした。勿論、教育と療育は違いますからそのへんの配慮も必要ですが、児童デイで走り回っているA君がきちんと学校の机に座って勉強していました。

個別指導の参考になるケースがどの教室にもありました。先生方の工夫と努力が想像されます。

▼ 教室で買い物の模擬体験

小学部低学年ではスーパーマーケットを想定して、買い物をしてお金の支払い、お釣りをもらうお客の役と、レジでお金を受け取るレジ係の役を児童たちに繰り返し練習されていました。

また、5、6年生のクラスでは近く行われるお祭りの準備として、ゲームセンターの模擬体験の練習が行われていました。

▼ 家庭や学校でもない児童デイの特徴

まごころの児童デイでは、未就学児童から養護学校や一般の小学校に通う6年生までの子どもたちが含まれています。ですから、年齢の異なる子ども同士の係わりがあることが大きな特徴です。

今回の訪問はその特徴を生かした療育を考える上で貴重な体験となりました。



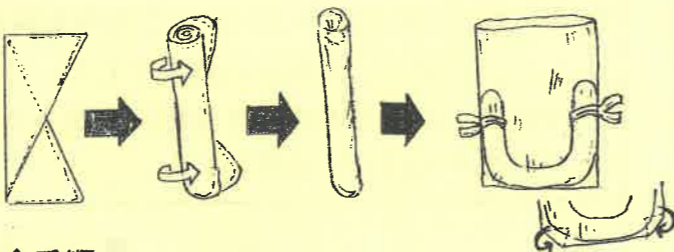
介護技術

～ベッド上での洗髪を学ぶ～

ベッド上でも洗髪が手軽に出来る仕方を当会も勉強会で取り入れました。以前、オムツを頭に敷いて、ペットボトルのお湯をかける洗髪法を学びました。ただし、オムツを使用することに抵抗があること、お湯をたくさん使用できないなどがあり、今回は家庭にあるバスタオルやビニール袋を利用して、洗髪パッドを作り利用する方法で行ないました。

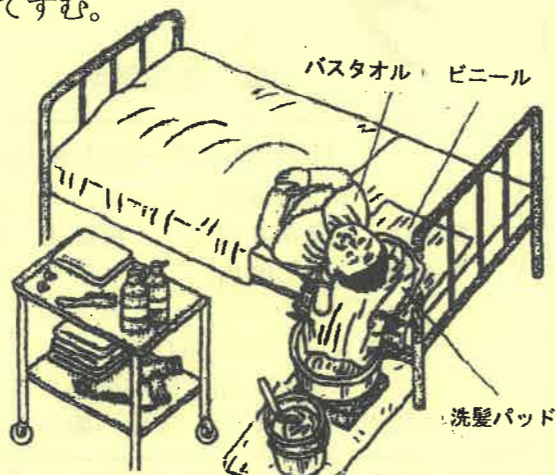
◇洗髪パッドの作り方

- ① バスタオルを斜めに折り、棒状に巻き、輪ゴムで止める。(巻いたバスタオルに、ストッキングをかぶせると形がしっかりする。)
- ② ビニール袋(60~80cm)に入れ、馬蹄形に形を整える。
(角を折り返し、セロテープでとめる)
- ③ 端を大きい洗濯バサミで止める。



◇手順

- ① 洗いやすいように、頭や体の位置を変える。
- ② 枕を外し、頭の下から肩にかけてビニールを敷く。
- ③ 首の下にバスタオルを扇子折りにして入れ、胸の下に広げておく。
- ④ 洗髪パッドを頭の下に置き、先端をバケツの中に入れ、大きい洗濯バサミで止める。
- ⑤ シャンプーする。シャンプーの泡をタオルでよく拭き取ってからすすぐとお湯が少なくてすむ。



まごころふれあいまつり特集～

「感動の長い手紙」メッセージより抜粋

◇生きる事は愛する事

大事な物があるから生きていける

西川馨

◇相手を想いやる優しい気持ちを誰もが持ち争いのない世の中になることを望みます

星野真己子

◇頸髄損傷を煩ってから早や三年半になります。その間平成十七年二月から「まごころ」の皆様本当に世話になっています。

本当に「真心」でお世話頂き感謝に耐えませんが、お世話になった当初は、自分に情けなく悲しい思いをすることが多く、皆様に御心配をかけました。今では、毎回来て頂く方々の「真心」を素直に頂き、少しでも楽しい生活にしたいと念じています。

岸壽一

◇私は、八年前にはじめてデイサービスと言うところを知りまして、まごころでいろいろ習いました。まず最初はキーボードを習い、それから習字や俳句をかくようになりました。持病もよくなり、本当にうれしく思います。まごころのみなさんに、親切にいただき、友だちもたくさん出来ました。心から喜んでおります。

大崎てる子

◇私の人生は多くの人々、生みの父母や育ての父母に支えられて今があります。脳梗塞に倒れどうしようかとなやんでいた時に新聞でデイサービスのまごころがあることを知り、私に合っていると思ってお世話になることを決めて本当によかったと思っています。

まごころで楽器や歌や習字や太極拳を習い、退院した時よりよくなったと主人に言われ、本当にありがたくうれしく思っております。

熊澤節子



絵：松田麻里

老いしてもパッチワークの布赤し
孫の背にばばへの想い問うてみる
幸不幸越えて八十路が見えかくれ
業平のつま恋ふ石碑や杜若
せむらぎに水美しき萩ゆるる

野澤千枝子

近藤政江

キラリと光る針の目に
糸通しの難しさ
年老いた自分を見つめながら
針の目のように
小さな光を求めたわが人生
悲しかったり笑ったり過ぎたる日々を想い
友と語りながら
今の幸せを胸に週一回の
楽しいパッチワークかな

藤塚加代子



絵：戸田唯貴子

◇健康が一番です
お金は四番目か五番目です

富田弘道

◇障害福祉に携わるようになり色々な親子の方々に会わせて頂いておりますが、その時々を感じることは、母は偉大なりです。子供の自立に向けての日々の努力、また共に努力する子供の姿、その親子の方々にエネルギーを感じ、そのエネルギーをもらって私は力がわいて来ます。少しでもお手伝い出来る事を嬉しく思います。

熊田光子